

2022筑波ロードレース選手権シリーズ第2戦

公式通知 No. 2

JASC

J.A.S.C. Foundation

2022年 5月 10日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

※重要

【大会期間中の注意事項 及び お知らせ】

- ・レースへの参加に当たり、問診票の提出が必須となります。問診票の提出がない場合、レースへの参加は認められません。医療機関受診の際に提出する重要な書類となりますので、ライダー受付時に必ず提出をお願いします。また、健康保険証とMF Jメディカルパスポートは必ず所持してください。
- ・パドック内のマシン移動は押し歩きのみ可能です。エンジン走行および惰力による乗車移動は禁止となりますのでご注意ください。
- ・最終コーナー立ち上がり左側、赤白縁石外側の退避レーン（緑色の部分）は、走行時の転倒や接触を防ぐ為の緊急回避スペースとなり、原則として使用は認められていません。これに違反した場合は、罰則の対象となる場合がございますのでご注意ください。また、一度退避レーンへ出た車両がコースに戻る際の接触事故が発生しています。細心の注意を払うようお願い致します。

1. ライダー受付（筑波サーキットホール）

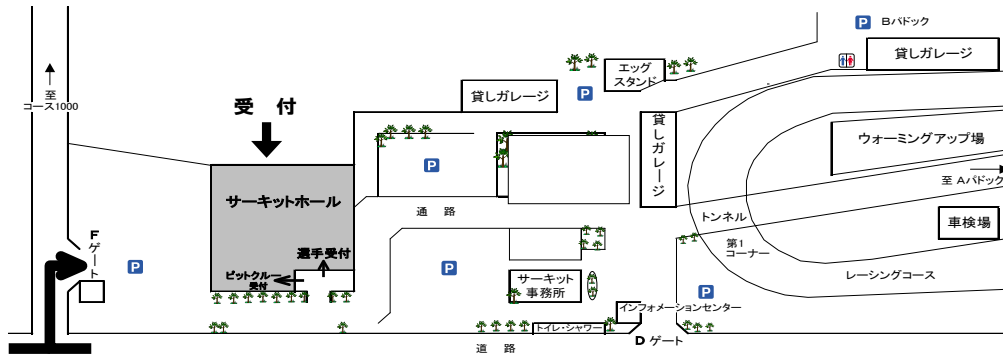
5月 27日（金） 14:00～16:00 / 5月 28日（土） 6:30～ 8:00

提示物 ①2022MF J競技ライセンス（提示できない者は理由の如何に関わらず出場できない） ②参加受理書

③車両仕様書・装備申告書（無記入の車両仕様書では受付できない） ④問診票 ⑤MF Jメディカルパスポート

※問診票の提出及び、MF Jメディカルパスポートの提示が必須となります。必ず持参してください。

※健康保険証は、各自必ず所持をすること。



★連絡車は自転車に限る（ミニバイク・スクーター・キックボード等は禁止）。

2. ピットクルー受付

(1) 今大会は、MF Jピットクルーライセンスの確認は行わない。（ピットクルー受付は行いません）

(2) 参加受理書に押印済みのピットクルーパスを同封する。ピットクルーとして登録されていない人がパスを使用するなど、不正が発覚した場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられ、次回以降の大会に参加できない。

配布されたパスは、常に見える位置に装着すること。

(3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付に変更を届け出ること。（変更料は1名に付1,100円）

(4) 補助ピットクルーについて

a. 補助クルーのパスの取り扱いについても、上記(1)(2)と同様とする。

b. 補助クルーは大会当日においても、規定人数まで申請できる。但し、1名につき2,200円の申請料が必要となる。

(5) 事前販売したパドックパスではピットロード、スターティンググリッドへの入場はできない。

3. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、7:20から16:00までとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。

4. 公式車両検査

(1) 時間：別紙タイムスケジュール参照 (2) 場所：Aパドック内車検場

(3) 提示物：①参加車両 ②車両仕様書・装備申告書（受付印済みのもの）④ヘルメット・脊柱/胸部プロテクション

(4) 車検場にはアンダーカウルを外した状態で車両を持ち込み、外したアンダーカウルも持参しなければならない。

(5) トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。（取付場所は、メインフレームフレームピボッドシャフト付近とする）

※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体：50,000円（税込）/ホルダー：1,000円（税込）

(6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること（2台目以降のカメラ取り付けは有料）。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなど脱落防止に努めること。走行中に脱落した場合には罰則（罰金を含む）を科す場合がある。

(7) 車検時に申告した内容（ヘルメット等の装備を含む）に変更がある場合は、必ずその内容について車検長に申告し、再車検を受けること。

(8) ST1000・ST600・JP250・CBR250RR/CBR250R Dream CUPは、公式車検時にタイヤマーキングを行う。但し、設定された時間帯にタイヤマーキングができない場合は、当該クラス予選開始前迄に車検場にてマーキングを行うこと。

※今大会の車両検査は、MF Jのガイドラインに則り、簡素化した形で実施いたします。装備申告書には、モデル名などできるだけ詳細を記載のうえ提出してください。但し、大会期間中のランダムチェック、スタート前チェック時、レース終了後の検査において違反が確認された場合は、罰則の対象となります。

5. サーキット内供給燃料について

- (1) J-GP3・ST600・JSB1000・ST1000・JP250は、筑波サーキットで販売される無鉛ガソリンのみを使用しなければならない。
- (2) 燃料を購入の際、車両仕様書のガソリン購入証明欄に証明印を受け、車検時に提出すること。
- (3) 供給時間；5月27日(金)7:00~16:30 / 5月28日(土)6:30~16:00
- (4) 供給場所；筑波サーキットAパドック内ガソリン給油所
- (5) 提出期限は公式車検終了時とし、やむを得ず提出できない場合は、当該予選開始時までには車検員に提出しなければならない。
- (6) 燃料検査の方法はMF Jロードレース競技規則による。

6. ピットボックスの使用について

- (1) 走行クラスごとに使用するピットボックスの割り当てを行う。
- (2) ピットボックスの使用は、予選・決勝を通じて行われているその当該クラスのチーム、ライダー、ピットクルーとする。
- (3) ピットボックスを使用できる時間は、その走行している時間とし、その前後10分を目安に入れ替えを行う。走行終了後は速やかに次のクラスが使用できるようにすること。
- (4) 上記で使用している時間以外、ピットボックス内にマシン・工具・荷物等を置いておくことは禁止される。

※割り当てのない1~9番ピットボックス内も、マシン・工具・荷物等を置いての占有使用は禁止される。

7. 予選コースイン・コースアウトの補足

予選のコースインは、コントロールタワー脇Bゲートに加え、ピットボックス開口部よりマシンをピット作業エリア(黄線よりピットボックス側)に入れることができる。他クラスの子選中はピット作業エリアにマシンを入れることはできない。マシンを入れるタイミングはオフィシャルの指示に従うこと。尚、スタート前チェックエリアは各予選10分前より準備スペースとして使用することはできる。また、予選時間内であればトラブルなど特別な理由の場合は、ピットボックスおよびパドックに入った後もコースに復帰できる。※予選終了後は、Cゲート(ピットエンド)からコースアウトすること(直接ピットボックスに入ることはできない)。

8. ウェイティングライダーの扱い

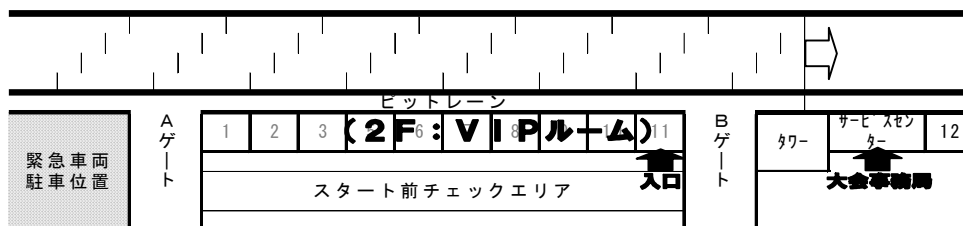
- (1) ウェイティングを希望するライダーは予選暫定結果発表後30分以内に申請書を大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 申請書提出者のうち、タイム順上位3位までがウェイティングライダーとして認められる。
- (3) 予選暫定結果発表後30分以内にリタイヤがない場合の出走は不可となる。
予選通過者で決勝レースに出場できないものは、必ずリタイヤ届を提出すること。
- (4) 出走の可否は、審査委員会により審議され、正式グリッド表にて発表する。

9. 出走嘆願書の扱い

- (1) 予選基準タイムに満たない選手について、過去の実績を考慮した上で、審査委員会の判断で出場を認める場合がある。
- (2) 予選に出走していないライダーの出走嘆願書は受け付けられない。
- (3) 出走嘆願書の提出期限は予選暫定結果発表後30分以内とする。
- (4) 出走の可否は、審査委員会により審議され、正式グリッド表にて発表する。

10. ブリーフィング

ブリーフィングをVIPルームにて行う。決勝レースの進行方法、注意事項、最終的な変更事項等の確認を行う。時間になったら必ず集合すること。出席しなかった場合は、罰則が科せられる。



11. 決勝スタート前チェック

- (1) 決勝スタート前チェックは、スタート予定時間の25分前に開始し11分前に終了する。
尚、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなす。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) 同時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットをスタート前チェック時に持参すること。

- (4) 何らかの理由によりタイムスケジュールが遅延した場合でも、スタート前チェックは定められた時間通りに行う。
尚、新たに大会事務局より時間が設定された場合には、その指示に従うこと。

12. サイティングラップ

- (1) サイティングラップ開始から3分後にピットレーン出口は閉鎖される。サイティングラップを行うライダーは、ピットレーン出口閉鎖までに、サイティングラップを1周して、スターティンググリッドに着くこと。(サイティングラップは義務づけられない) それ以降にグリッドにつく場合はオフィシャルの指示に従って直接自分のマシンをグリッドに押して行くことができる。サイティングラップ開始後のグリッド上での給油は禁止される。
- (2) 全てのクラスで、グリッド上でのタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーター(蓄電式含む)の使用が認められる。マシン1台につきハンディタイプのジェネレーター(蓄電式含む)1台迄可能とし、車両の後方に置いて使用すること。但し、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。

13. ウォーミングアップラップスタート方法

- (1) 1分前エンジン始動(正規の位置後方よりエンジンをかけ、正規の位置に待機)
- (2) フラッグタワーより提示されるグリーンフラッグの合図でスタートする。
- (3) **ウォーミングアップラップは2周回とする。**

14. ピットレーン先端(ピット前)シグナルライトについて

ピットレーン先端のシグナルライトは、緑(コースイン可)、赤(コースイン不可)となる。無灯の場合は、緑灯と同様に扱う。また、公式予選およびレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと(第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること)。

15. ジャンプスタート

- (1) ライドスルーペナルティー
- ① 該当ライダーに「**RIDE THROUGH**」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードをコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。**尚、ライダーからの視認性を高めるため、RIDE THROUGHボードと同時に黒旗がサービスマンフラッグとして出される。**
- ② 当該ライダーは、レース中ピットレーンを通るよう指示される。途中、停止することは認められない。
- ③ ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティーを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。
- (2) **レース終了までにペナルティが消化できないときは、競技結果への30秒の加算の場合もある。**
- (3) RIDE THROUGHボードは5.5番コース監視ポスト(第2ヘアピン内側)でも提示される。

16. ピットレーンの速度制限

ピットレーン走行中の違反は、重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落とし常に停止できる状態で走行すること。尚、**ピットレーンの制限スピードは40km/h以下**とし、違反した場合には罰則が科せられる。また、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーン上に出てはならない。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

17. ウェットボード提示の判断基準の追加

サイティングラップ開始時点で、路面が全部又は一部がウェットコンディションである。(ハーフウェットを含む)

- [例] ① サイティングラップからグリッドに戻り、ウォーミングアップラップ開始までに降雨があった場合は、ウェットボードを提示し、ウォーミングアップラップスタートを遅らせタイヤ交換の時間をとる。(5分間)
- ② ウォーミングアップラップ中に降雨があった場合は、グリッドに戻り、タイヤ交換の時間を与え、ウォーミングアップラップからやり直す。この場合1周減算。
- ③ スタート直後に降雨があり、赤旗提示がされた場合は再スタート。

18. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	成立周回数
JP250/ CBR250RR・ CBR250R Dream CUP	12 L	9 L	8 L
TC400/ TC250・ S80	15 L	11 L	10 L
TC-Fomtula・ ST1000・ J-GP3・ ST600	18 L	13 L	12 L

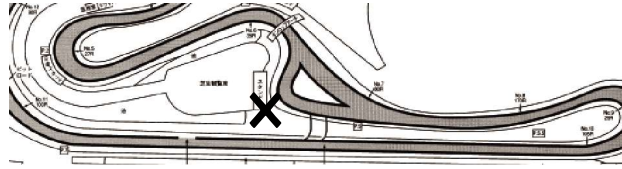
※各クラスにおいて、WE T時(WE T宣言が提示された場合)は、決勝レース周回数を2周減算する場合がある。その場合各レースのサイティングラップ開始までに公示される。

19. 違反行為に対する罰則について

- (1) 違反に対する罰則は最高で失格、罰金の場合は最高20万円とする。罰金はMFJに管理される。
- (2) 訓戒を重ねると(積算)、罰金に至る場合がある。(訓戒とは文書による注意)
- (3) 口頭注意は罰則としない。
- (4) **パーツの落下やオイル漏れが、他車の転倒等の要因を作ったと認められる場合、当該選手に罰則を科す場合がある。**

20. ショートカット

ショートカットの使用は禁止される。
使用した場合にはペナルティが科せられる。



21. チェッカーフラッグの提示場所

予選・決勝を通じ、チェッカーフラッグはフラッグタワーにて提示される。また、視認性向上のためフラッグタワー下(後方)でも補助的に出される場合がある。

22. 再車検について

- (1) 各レース終了後に、各クラス正賞対象順位まで車両保管を行う。暫定表彰式後、オフィシャルの指示に従い、マシンを車検場に移動すること。
- (2) 車両返却時のトラブル防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、ライダーのMF Jライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。

23. 暫定表彰式および表彰式

- (1) 下記のライダーに対し、暫定表彰式を各レース終了後にコース上で行う。但し、タイムスケジュールの都合によりパドック等で行う場合がある。また、全競技終了後の表彰式は行わない。
- (2) ノンアルコールチャンピオンを授与いたしますが、少量のアルコール(0.49%)が含まれているので未成年およびレース後に運転する場合には摂取しないこと。
- (3) 下記のライダーに対し、正賞の楯を正式結果発表後にサービスセンターにて授与する。受け渡しは大会終了時までとし、終了後は、受け取りを拒否したものとみなす。(※ライダーのMF Jライセンスを持参してください)

クラス	暫定表彰式	正賞	クラス	暫定表彰式	正賞
TC400	1～3位	1・2位	ST1000(Int)	総合	1位
TC250	1～3位	1・2位	ST1000(Nat)	1～3位	1・2位
S80	1～6位	1～4位	J-GP3(Int)	1～3位	1位
JP250(Int)	1位	1位	J-GP3(Nat)	1～3位	1・2位
JP250(Nat)	1～3位	1・2位	HRC NSF250R Challenge	1～3位	HRC規定
CBR250RR Dream CUP	1位	1位	ST600(Int)	1位	1位
TC-Fomula(S)	総合	1位	ST600(Nat)	1～3位	1～3位
TC-Fomula(P)	1～3位	1・2位	CBR250R Dream CUP	1～6位	1～6位

※JP250(Nat)は、各車両メーカー1位の選手に対し、車両メーカー表彰を行います。

※暫定表彰式でコース内に入場の際は、全員マスクの着用をお願いします。

24. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷したライダーは最初に施設の医務室で診断を受けること。医務室の診断記録に記録がないと保険がおりない場合がある。
- (2) サーキット指定病院 : 茨城西南医療センター病院 〒306-0400 茨城県猿島郡境町2190 TEL:0296-87-8111

25. Aパドック内で有料スペース以外にテントを設置することができるエリアは別紙の通りとし、指定された区域以外を使用することはできない。テントは2m程度の間隔を開けて設置し、密閉空間とならないよう注意すること。

☆お願い 施設内の安全管理の為、エントリー1台に対して消火器を1本携帯していただきますようお願いいたします。

お知らせ パドック間のコース横断・往来について

各パドックとコースの往来が行えます。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるためとなります。各走行のインターバル時に下記を開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック(1ヘアピン側ゲート) ⇔ Aパドック(ドライバーズサロン脇ゲート)
2. メインスタンド側駐車場(P4) ⇔ Aパドック(ガソリンスタンド脇)

【ST1000・JP250 参加者向け】

タイヤ引換え・組換えは、ダンロップタイヤサービスにて行います。タイヤ引換え券はライダー受付時に配布いたします。引き換えは、JP250が予選開始1時間前迄、ST1000は予選開始2時間前迄とする。(タイヤマーキング期限に間に合うこと。)組換えは、タイヤサービスオープン時間内であれば可能です。

【CBR250RR・CBR250R Dream CUP 参加者向け】

レーシングレインタイヤの使用が認められる。

【ST600参加者向け】

タイヤ引換えは、筑波ガレージ(ブリヂストンタイヤサービス横)にて下記時間に行います。尚、タイヤの組換えは予選開始1時間前までとする。但し、タイヤマーキング期限に間に合うこと。

5月27日(金) 8:30~9:00 及び 12:00~12:30 / 5月28日(土) 6:45~7:15

本通知に記載されていない事項は、2022MF J国内競技規則、2022筑波選手権特別規則書に準ずる。